

茨城県
自衛隊家族会

会報

第2号
2024年7月1日
発行者
正代 初代

ホームページを開設

会長挨拶

茨城県自衛隊家族会
会長 正代 初代



皆様にご報告いたします。
茨城県自衛隊家族会では令和六年六月二十二日に念願のホームページを開設いたしました。これは、私が先般情報発信いたしました「効率的かつ経済的な通信・連絡手段の活用」を具現化したものです。
これからは皆様はこのホームページ及び電子メール等を活用し、茨城県下の自衛隊家族会の活動状況及びお役立ち情報等を

適時に提供し、共通の認識のもと事業を進めて行きたいと思
います。

ホームページは「公益社団法人自衛隊家族会 茨城県自衛隊家族会」を入力またはQRコードを読み取ることが出来ます。



まず、冒頭には私たちの主な活動目的及び最新のニュースを掲載しています。

次に「私たちについて」と題し、組織の沿革、活動方針、入会の参考等を掲載した後「会長からの情報発信」となります。このページでは正会員（県所属）の方々限定して「令和六年度の茨城県家族会の事業方針・実

施要領」を皆様にお知らせするために特別に設けました。このため閲覧するためにはユーザー名「kanokuni」及びパスワード「17813」を入力する必要があります。どうか正会員の皆様にはこのページを一読いただき、事業の推進に向けご協力いただきたいと思
います。
次のページは「事務局からのお知らせ」となります。「イベントのご案内」及び「公社自衛隊家族会の月報」に関する情報を提供いたします。現在は特に九月十四日（土）に実施さ

れる百里基地音楽祭の入場券の申込み受付についてご案内しています。

次のページは「事業予定」です。県全体に関係する事業と地区家族会の事業に区分してあります。現在は令和六年度の事業予定を逐次更新してまいります。各地区家族会の事業予定も情報提供を受け次第掲載いたし

ます。

その後に来るページは「令和六年度の活動状況」です。ここでは県全体の事業に関わる活動状況を逐次掲載してまいります。

次は皆様に直接関わる「地区家族会の事業」について紹介してまいります。現在、県北地区、土浦地区、県南地区、県西地区の事業について紹介しております。県央地区及び鹿行地区の皆様には是非事業情報をご提供いただき努めて早く掲載できることを期待しております。
最後は「会員情報」です。「表彰等」、「正会員」、「賛助会員」について紹介してあります。以上でホームページの主要な構成についてご紹介いたしました。記載内容は日々更新してまいりますので皆様のご訪問をお待ちしております。

(公社) 自衛隊家族会と 茨城県自衛隊家族会

ホームページの「私たちについて」に記載しております「沿革・目的」を紹介いたします。公益社団法人自衛隊家族会は昭和三十年頃「自衛隊員の支えになりたい」として隊員の親たちを設立しました。以来、昭和四

十一年に「全国自衛隊父兄会連合会」、昭和五十一年の「社団法人」、平成二十四年に新法人法に基づき「公益社団法人」を経て、平成二十九年一月一日に「公益社団法人自衛隊家族会」に名称を変更し、同時に「隊員の心の支えとなる団体」から一歩進んで「自衛隊を支える団体」を目指して信条を見直し、「国民に対する防衛意識の普及高揚自衛隊に関する広報、募集・援護、家族支援協力、隊員の慰問・激励等の事業を推進する。」としました。

当会はその支部であり、主に茨城県に所在する自衛隊を支援することを目的として活動しております。

県下家族会の活動状況

（一）では令和六年度の県下各家族会の活動状況をご紹介します。

四月十五日

勝田駐屯地において県内全体を対象とした令和六年度第一回家族支援担当者会同が実施されました。

参加者は、自衛隊側から勝田駐屯地、土浦駐屯地、霞ヶ浦駐屯地、古河駐屯地、百里基地



及び霞ヶ浦分屯基地から厚生課(科)長・班長・係長・活動支援専門官等、

部外関係団体として茨城県自衛隊家族会長及び茨城県隊友会事務局長が参加されました。

目的は、本年度の家族支援業務における情報交換・意見交換等により今後の家族支援施策の推進を図る。

内容は、①陸上自衛隊の施策について、②留守家族名簿システムの概要等、③安否確認システムの概要、④令和六年度の茨城県の家族支援事業・家族支援担当者会同等・実動訓練の予定・隊員の家族との顔合せ状況、⑤令和六年度の各駐屯地の家族支援事業について

五月二十一日

霞ヶ浦駐屯地にて令和六年度

第一回家族支援担当者会同が実施されました。



参加者は、自衛隊側から霞ヶ浦駐屯地業務隊厚生科長、同厚生班長、土浦地区自衛隊家族会側からかすみがうら市自衛隊家族長(木間塚仙子) 土浦市自衛隊家族長(篠塚昌毅) つくば市自衛隊家族長(星田弘司) 県自衛隊家族会長(正代初代) 同事務局長(正代藤倫)、内容①家族会の地区会長に対する家族支援の概要説明②令和六年度事業計画等の説明

五月二十二日

土浦駐屯地武器学校において家族支援担当者会同を実施しました。



参加者は、武器学校から武器学校厚生課長、厚生班長、県南地区自衛隊家族会側から阿見町自衛隊家族会長(具会長) 正代初代、同会員(県事務局長) 正代藤倫、隊友会稲龍支部長(平野誠司) 実施内容は、武器学校からマッチング案の受領及び指揮所開設に関する説明受け、会同結果は、家族会側としてマッチング案を検討し、後日武器学校に提出となりました。

六月十一日

(公社) 自衛隊家族会の総会がグランドヒル市ヶ谷にて実施されました。全国から都道府県自衛隊家族会長が一堂に会され、貴重な情報交換が行われました。その後の意見交換会では木原防衛大臣のご臨席をいただき和やかなの中募集活動に関する支援依頼がありました。



また、六月十二日には会長が陸・海・空幕による令和六年度募集協力者会同に参加されました

六月十三日

茨城県自衛隊家族会から十一名の方が東富士演習場を訪問し、野戦砲臺により発射された砲弾の弾着の景況を防弾壁付窓から確認する視察研修を実施しました。この日は早朝から茨城を经ち、富士学校に十時に到着、午前中に資料館及び自衛隊の戦車等装備品を見学、その後、隊員食堂にて体験喫食を行いました。午後になり、ゴゴトラックの荷台に乗り、東富士演習場に



前進しました。到着したのは弾着地域に設けられた防弾施設、この施設に弾着を確認するた

めの窓があり、そこから破裂の状況を確認しました。





六月二十七日

霞ヶ浦駐屯地にて令和六年度第二次家族支援担当者会同が実施されました。



自衛隊側から厚生科長、同

厚生班長、家族支援専門官、土浦地区自衛隊家族会側から県自衛隊家族会長（正代初代）、かすみがうら市自衛隊家族会長（木間塚仙子）、つくば市自衛隊家族会長（星田弘司）、石岡市自衛隊家族会長（宮田正美）、県自衛隊家族会事務局長（正代藤倫）、隊友会から県隊友会事務局長、石岡支部長、つくば支部長、土浦支部長代理が参加されました。

実施内容は①施策に関する現状、②割当調整について③実動訓練の成果等について、④顔写真の提出について（依頼）⑤今年度の業務予定について、⑥その他（意見要望等）、次の会同までに実施する事項として①自衛隊側 支援要望掌握（最新の状態に更新）、②家族会・隊友会 支援可能者を掌握（最新の状態に更新）③ 自衛隊側 マッチング案の作成、④家族会・隊友会 マッチング案に対する意見の提出、⑤身分証明書写真の提出

六月二十九日

自衛官候補生課程学生の教育は勝田駐屯地施設学校の施設指導隊新隊員教育隊が約三ヶ月にわたり担任され、晴れて令和六年六月二十九日（土）に修了式を

実施されました。正代初代県自衛隊家族会長は来賓として二十五名の課程修了者に対し祝辞を述べられました。



自衛隊を支える部外団体として課程修了隊員の厳しい訓練を乗り越え無事修了されたことをねぎらい、かつ、明るい将来を祈る祝辞はご参加の家族にも共感を分かち合うものとなったようです。

修了式後はご家族（約四十名）にお時間をいただき自衛隊家族会への入会説明を行いました。今月に開設した茨城県自衛隊家族会のホームページの閲覧方法も具体的に説明され家族会に印象深い広報を実施することが出来ました。今回の実施に当たりご協力をいただいた自衛隊茨城

地方協力本部長他隊員の皆様から感謝いたします。

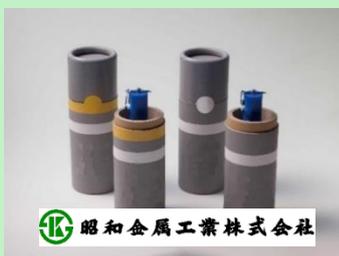


編集後記

編集部では次回の編集のため郵送又は左記メールアドレスへの送信により皆様のご寄稿をお待ちしております。
事務局長 正代藤倫
fujinorihatsuyoshodai@gmail.com

賛助会員

株式会社
イーストワン



昭和金属工業株式会社

